

令和2年度の園運営及び自己評価に対する評価、意見等を以下にご記載ください。

(※自己評価区分 A：成果が上かった。B：ある程度成果が上がった。C：もう少し努力が必要。D：改善が必要。)

建学の精神 「自然から学ぶ」

1 本園の教育保育目標 ◎ 思いやりのある子 ◎ 考え工夫する子 ◎ 明るくたくましい子

関係者評価の区分
 A：成果を上げている。
 B：ある程度成果を上げている。
 C：もう少し努力が必要である。
 D：改善が必要である。

【各学年のねらい(年間)】

- 0歳児 身近な保育教諭や友達との触れ合いを喜び、安心して過ごす
- 1歳児 保育教諭や友達と関わりながらいろいろな遊びをする中で、自分の思いを表現する楽しさを感じる
- 2歳児 いろいろな遊びや身の回りのことに関心をもって自らかかわり、保育教諭や友達と興味を広げ楽しさを感じる
- 3歳児 様々な遊びに興味をもち、自分の気持ちを表現しながら友達と関わることを楽しむ
- 4歳児 様々な遊びや活動に興味をもち自ら進んで参加したり自分の気持ちを伝えたりしながら、クラスの友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる
- 5歳児 様々な活動に意欲的に取り組む中で、自分なりに考えながら目標や見通しをもって行動することや、いろいろな友達と気持ちや考えを伝え合い協力しながら遊びを進めることを楽しむ

自己評価	評価内容	関係者評価	
		評価	意見等
「B」	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末の各年齢の子どもの育ちを捉えると、概ね「ねらい」は達成されたと考える。 ・年齢によっては「ねらい」の設定が少し高くなってしまった部分も見られたため、年度の途中での成長段階の確認や、それに合わせたねらいの修正などを行うべきであった。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを想定して「ねらい」を設定するが、目の前の子どもの実態をよく見て、年度途中の振り返りと改善を今後とも大切にしてほしい。 ・園への送り迎え時、各学年の子どもたちの様子を見ていると、一人ひとりに居場所があり、落ち着いて

			<p>過ごすことができていると感じた。安心感があってこそこの「ねらい」だと思うので、達成されていると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年のコロナ禍の中で、新しい生活スタイルを子どもたちがしっかり実践している様子を見るとちゃんと成長していると思う。先生方の努力の賜物ではないだろうか。
--	--	--	--

2 重点的に取り組んだ目標・計画について

目 標	具体的な取り組み計画	評価内容	関係者評価	
			評価	意見等
<p>コロナ禍における衛生環境と日常保育の充実</p> <p>【自己評価】 「A」</p>	<p>☆<u>新型コロナウイルス感染予防対策を実施</u> 〈衛生環境〉</p> <ul style="list-style-type: none"> * 玄関、保育室、廊下に消毒液(手指用アルコール)を設置 * 園内の多く触れられる場(玄関・トイレ・手洗い場・各ドアノブ・保育室等)の定期的な消毒の実施 * 定期的に窓を開けての換気 * 手洗い後の各自のタオル使用を中止し、ペーパータオルを使用 * 食事時の消毒(机、手指)の徹底 	<p>〈衛生環境について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の理解や協力のもと、全般的に可能な限りの対策を実施できた。 ・必要な備品(非接触温度計、消毒用品、サーマルカメラ、加湿器等)を徐々に増やすことができ、より衛生環境を整えることができた。 ・職員が協力し工夫しながら、園内各場所の消毒や玩具・遊具の消毒を実施できた。 ・年齢に合わせて園児自らが手洗いや消毒を行えるよう、出来る範囲での指導を行ったところ、自ら気をつける姿勢が見られるようになった。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・園での新型コロナウイルス感染症対策が子どもに対する指導でもあるので、これからも健康を守ることを自分自身で考え、判断できるように衛生環境を実施してほしい。 ・感染予防対策については十分に行われていたと感じている。今冬はインフルエンザに罹患した子もいなかったのでは。 ・手洗い後のタオルの使用をなくし、全てペーパータオルになったのは良かったと思う。加湿器の導入や消毒アルコールの設置、多く触れる場所の消毒等、先生の負担が増えてしまい大変かと思いますが、コロナ以外の感染症にも効果があると思うので、無理のない範囲で続けて欲しい。 ・園長自ら毎朝玄関の消毒を行ったり、細かなおもちゃも全て消毒されて乾かしている様子が毎日見られた。通常業務に加えてのこういった作業は大変な苦勞であったと思う。 ・職員のマスクだが、もし仮に感染者が出た際には、布マスクでは濃厚接触者に該当するとされているので、

	<p><日常保育></p> <ul style="list-style-type: none"> * 休園期間における可能な限りの保育実施 * マスクの着用(職員・3～5歳児・保護者・来園者) * 手洗い・消毒の徹底 * ソーシャルディスタンスの確保(保育中・食事時) * 3密の回避 * 歌唱の自粛 * 園バス使用時の換気、ソーシャルディスタンスの確保 	<p><日常保育について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の幼稚園部門の休園期間や保育園部門の登園自粛要請期間(4～5月)には、家庭で楽しめる機会を設けることができた。(保育のZOOM配信、各家庭へ製作物キットの配布(3～5歳児のみ)等) ・保護者の理解や協力のもと、健康チェック表の記入と持参、マスクの着用や水筒持参、汗拭きタオルやカラー帽子の持ち帰りなど、新たな感染予防対策をとることができた。 ・密を避ける保育内容の工夫を可能な限り実施できた。(出来るだけ戸外であそぶ、戸外での朝の会の実施、戸外遊びの充実、人数が多いクラスの保育を2か所に分けたり遊戯室の広い空間を利用したりする等) ・トイレや手洗い場などの密集しやすい場には、わかりやすい表示を付け子どもたち自身が気を付けられるような環境を用意した。 ・1学期中は歌唱を自粛し、2学期は徐々に感染対策(マスクの着用・同一方向を向く等)を取りながら歌唱を再開させた。 ・送迎バスや園外保育時の園バス移動についても、常時換気することや長時間になる場合は乗車人数を少なくすることやバスの台数を増やす等の配慮を行った。 <p>総合的には、保護者の理解や協力のもと感染対策を実施しつつ、園児の日常の保育環境を出来るだけ守りながら過ごすことができたと考えている。</p>		<p>濃厚接触者を出来るだけ少なくするためにも(園の運営にも関わる…)、不織布マスクを着用するのが良いのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度新型コロナウイルス感染症の拡大で、新たな対応を余儀なくされたが、園の取組を保護者に伝え、家庭との連携がより完全症予防に効果的であると考えられる。ぜひ続けて欲しい。 ・子どもたちへの指導も徹底されており、手洗い場も密になることなく待つことができていた。(マザーズデイにて) ・休園中のZOOMや製作物キットの配布は、人との繋がりが断たれる中、親子共々救われた。
<p>コロナ禍における行事の円滑な遂行</p> <p>【自己評価】</p> <p>「B」</p>	<p>☆<u>実施の判断や実施方法の工夫を行う</u></p> <ul style="list-style-type: none"> * 行事の趣旨やねらいを重視し、可能な限りの保育の確保 * 緊急事態宣言等の状況に鑑みての判断 * 様々な観点からの感染予防策を講じ、規模 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルスの感染状況により、断念した行事(運動会、発表会の保護者観覧、乳児クラス参観日等)があり、保護者に残念な思いをさせてしまったが、園児に経験させたかった保育内容は減らすことなく、様々な体験は保障できたと思う。 ・開催できた行事については、保護者の理解と協力のもと、内容の縮小や人数の制限を行いながら、実施することができ良かった。 ・保護者観覧や参加ができなかった行事については、YouTubeで動画配信をするなどの対応ができたことは、良かった。 	<p>「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の中止や縮小はやむを得ない。今後「with コロナの生活」がしばらく続くと考えられるので、ねらいに出来るだけ近づける行事の在り方を職員で考え、実行してほしい。 ・年長ならではの行事がたくさん中止になり、とても残念だったが、大きな行事は、子どもたちだけでも体験させてくれた。その経験によって成長できたと思う。 ・年間を通して、子どもたちの成長につながる、また、わくわくするイベントが実施されていた。

	<p>の縮小や時間短縮等の工夫により可能な限りの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策のため考えた実施方法が、やってみると良かった面もあり、新たな気付きにつながったことも多かったため、次年度に活かせるように考えている。 ・新たな試みも多く、予定通りにできなかったことや保護者へのお知らせが煩雑になり、混乱させてしまったこともあったことが、反省としてあげられる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にとっては、YouTube 配信が大きな楽しみであっただろうと感じる。 ・一例ではあるが、小学校の屋内で保護者が参加、観覧する行事では、誰がどこの席に座っていたかを把握し行事を行っていた。参考ではあるが、仮に感染者が発生したとしてもその後の対策をしっかり取っていけば、より多くの行事や多くの保護者が参加できると思う。 ・「雪遊び大会」「マザーズデイ」「ファザーズデイ」の参加希望が先着順である必要があったのか、少し疑問に感じた。参加が一つの家庭に偏らないよう、いずれかのイベントを一つ選んでもらい、人数が満たない場合に再度参加を募集するなど…(先生たちの負担を増やしてしまうかもしれないが…)
<p>保育環境整備や環境構成の創意工夫</p> <p>【自己評価】 「B」</p>	<p>☆「遊び」の広がりや<u>展につながる環境づくりを行う</u></p> <ul style="list-style-type: none"> * 園庭の整備による魅力の向上 * 遊戯室の環境整備の実施 * 保育室内の玩具の見直しと充実 * 園内研究を通しての保育室内の環境構成の見直し改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度保護者からもご意見をいただいていた「園庭」環境の補修(築山のテーブルセット・築山の斜面)や、新たな環境整備(ウッドデッキや多目的の小屋)を行うことができ、園児の遊びが広がったり発展したりと効果が見られた。 ・遊戯室にも、新たなコーナーを設置することができ、子どもたちの楽しみが増え、遊びの広がりにつながったと考える。しかし、設置工事が年末年始となり、遊び始めたのが2月頃からとなってしまうため、特に卒園を控えた5歳児には、存分に遊ぶ機会を設けてあげられなかったことが残念だった。 ・今年度は、保育室での遊びの充実に向け、当学園の「玩具選定規準」に基づき年齢に合った玩具を増やしたことにより、遊びの幅が広がった。 ・園内研究の取組として、各保育室の環境づくりを見直し、改善することができた。今までの日常の環境を改めて考えることで、子どもたちの遊びがより主体的に行われるようになり効果的だったため、次年度もそれを活かし、より育ちに合わせた遊びの充実を図りたいと考えている。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園での「遊び」は子どもの成長にとって重要なことなので、コロナ禍における遊びの工夫を今後とも考え、実行し、それを保護者に伝えてほしい。 ・クラス便りや園便りの内容や写真により園での遊びを充分に知ることができた。 ・園庭や遊戯室に新しい環境ができて、子どもは喜んでいった。「タングラム」等の知育パズルの導入も良かったと思う。 ・毎年様々な工夫や改善が見られ、良いと思う。 ・今年度は特に子どもたちの園での様子が全くわからなかったもので、普段の様子をもう少し伝えてもらえる嬉しかった。 ・園内の様子については、ホームページのブログなどを活用し発信していくと、もっと良いのではと思う。 ・園内研究についても取組の内容を知りたいと思った。

		<ul style="list-style-type: none"> しかし昨年度に続き、保護者アンケートの回答からみると、園内や園庭の環境改善についてやその場での遊びの様子が、保護者に伝えきれていないと感じた。今年度はさらに、新型コロナウイルス感染予防のため、保護者の行事参加や園見学の制限があったことにより、実際に来園する機会が激減したこともあり、園からの発信の仕方をより工夫する必要があったと感じた。 		
<p>保護者との連携の推進</p> <p>【自己評価】 「B」</p>	<p>☆園理解の強化と保護者からの信頼度が上がるよう努める</p> <p>*昨年度末実施の保護者アンケート結果に対する対応の可能な範囲での実施</p> <p>*コドモンの活用による利便性の強化</p> <p>*園からの発信の多様化</p>	<ul style="list-style-type: none"> コドモンを利用し始めて2年目となったため、より利便性を良くするよう、玄関の鍵の開錠ができるようにしたり、行事の参加有無などをアンケート機能で回答してもらったりと、活用の幅が増えたことは良かった。 また、新年度早々の新型コロナウイルス感染予防としての休園や登園自粛期間中の家庭への連絡などにも、活用できたことも良かった。 新型コロナウイルスの感染予防などの対応として、ZOOM配信やYouTubeの活用ができたことは、園としての新たな発信方法となり保護者にも好評だったため良かった。 しかし、コドモン機能の活用が不定期になり、保護者の欲しい情報の提供に繋がらなかったり、利用できる機能を活用しきれなかったりすることがあったため、保護者の利便性をより高めることや、職員の業務負担の軽減にもなるよう、次年度以降の課題としたい。 昨年度保護者アンケートで挙げていただいた課題の部分についても、改善出来た部分と改善まで至らなかった部分もあった。コロナ禍で例年のような保育活動ができず変更が多かったことや消毒作業等などによる業務量の増加もあり、改善に至らなかったことが理由にあげられるが、せっかくだといただいた意見を反映できずに終わってしまったことが、次年度への課題となった。 	「B」	<ul style="list-style-type: none"> ZOOM配信やYouTubeの活用は効果的であると考えている。ただ、保護者全員が活用できるかどうか心配な点である。活用できない保護者に対しての方策も考えておく必要がある。保護者からいただいた意見については、職員で共有し、早め早めの対応をお願いしたい。 コドモンのアンケート機能の活用や休園中の連絡等は、使いやすく良かった。 コドモンのカレンダーページは、時間や持ち物等も一緒に見られるようにするなど、もっと活用できるのではと思った。 コドモンは十分に活用されていると思う。 行事写真の購入もネット販売だと家で子どもと一緒にゆっくり見られるのでとても良かった。 写真がWebで購入できるのは非常に良かった。 今年度は、予定を変更せざるを得ない状況が続いたので仕方ないと思うが、変更前の情報と変更後の情報が混在し、度々混乱した。 先生方同士の伝達が上手くいっていないことがあった。こども園は、幼稚園部門・保育園部門・預かり保育など、形態が様々なため各家庭からの細かい連絡やお願いも多いのではないかと感じる。先生方の負担を少なくし、伝達ミスが起きないように何らかの工夫があれば…と思う。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法	関係者評価	
		評価	意 見 等
コロナ禍での円滑な園運営の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式のもと、今年度の経験を活かしながら園児の日常を保障し、園行事についても可能な方法を探りながら実施できるようにしたい。 ・制限が多い中でも、園の考えや保育の内容を保護者にお伝えしながら園運営への理解を深めてもらえるようにしたい。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・園での様々なコロナ対応、取組を子どもの健康を守る意味でも今後も続けていってほしい。 ・今年度は換気のため、園内がとても寒かった。バス登園の保護者は園内のそういった環境がわからないため、上着の持参をお願いするなどの連絡があったら良かったのではないと感じたため、次に活かしてもらいたい。
保育環境の整備や構成の創意工夫と充実	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、新たな保育環境を整備したり、今ある環境を見直したりすることができたことにより、子どもの主体性を育む「遊び」に必要な環境について考えることができたため、次年度も継続して考え工夫していくことにより、より充実させられるようにしたい。 ・保護者アンケートの結果では、園での取組が伝えきれていないことが感じられたため、発信の方法等を新たに検討しながら継続して取り組みたい。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・環境が教育に大きく影響するので、子どもの目線で環境を整備してほしい。
園と保護者の連携内容の工夫による連携の深化	<ul style="list-style-type: none"> ・園からの様々な発信が課題と感じられるため、発信方法の検討や改善をし、より伝わりやすくなるための取組を考え実践することで、連携を深めたい。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひお願いしたい。
職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保育を行う上での大切な環境の一つとなる保育教諭それぞれが、よりいきいきと健康的に勤務できるように、様々な視点から日常業務を見直し、改善に努めたい。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が肉体的にも精神的にも健康的に勤務できないと、子どもへの教育に影響が出るので、より効果的・効率的な業務改善を目指してほしい。